

## 2 調査研究の方法・内容等

### (1) 調査方法

#### ① アンケート調査

- ・ 県内公立小・中学校 540 校（小学校 378 校、中学校 162 校）及び県立学校 79 校（中学校 3 校、高等学校 61 校、特別支援学校 15 校）に調査票を送付し、FAX、E-mail 等により回答を得る。

#### ② ヒアリング調査・事例研究

- ・ アンケート調査の結果より、先進的・特徴的な取組を行っている県内小・中学校・高校及び特別支援学校を抽出し、ヒアリング調査や資料収集による事例研究を行う。
- ・ 公開された情報等を基に、先進的取組を行っている県外小・中学校を対象に、地域との連携が活発に、かつ継続的・効果的に行われている学校の事例についてヒアリング調査や資料収集による事例研究を行う。

### (2) 調査対象

#### ① アンケート調査

- ・ 県内公立小・中学校 540 校及び県立学校 79 校の校長及び教頭（副校長）

#### ② ヒアリング調査

- ・ アンケート調査の結果により抽出した学校の校長
- ・ 公開された情報等を基に先進的取組を行っている県外小・中学校及び教育委員会

### (3) 調査内容

#### ① アンケート調査〔主な項目〕

- 学校と地域が連携した活動（組織・体制含む）
- 地域連携に関する職員の取組
- 連携が学校経営に与える効果
- 地域連携教員の設置に対する考え及び期待

#### ② ヒアリング調査〔主な項目〕

- 連携を始めた経緯や内容及び連携の意義
- 連携が学校経営に与える効果及び課題
- 地域連携教員設置の成果及び課題

### (4) 調査研究期間 平成26年9月～平成27年3月

#### ① アンケート調査

（平成26年9月～10月）

#### ② アンケート調査の集計・分析

（平成26年10月～平成27年2月）

#### ③ ヒアリング調査・事例研究

（平成26年10月～平成27年2月）

#### ④ まとめ

（平成26年12月～平成27年3月）

- ・ 報告書の作成
- ・ 平成26年度栃木県教育研究発表大会で発表